

久留米大学(特性対応型)KG-PROJECT

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 実施期間: R2~R7年

【実施体制】

学長のリーダーシップのもと、まず医学部内でのダイバーシティ・インクルージョン(DI)推進室の設置と 各部署のダイバーシティ・インクルージョン(DI)委員の任命を行い、ダイバーシティの啓蒙と本事業の浸透を図ります。 さらに事業実施期間内に取組を文系学部へ広げ、久留米大学の目指す文医の融合を実現します。

【特長】

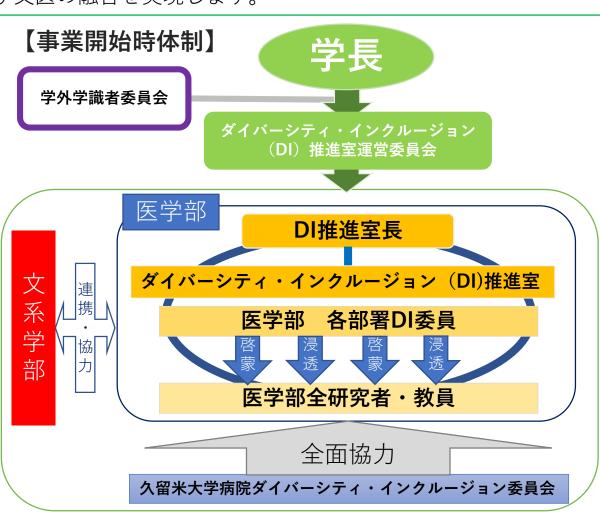
- 1. 全学を巻き込んだ、ダイバーシティ研究環境の実現、一人も取り残すことのないインクルーシブな環境の実現に取り組みます
- 2. 本学の医系女性研究者の配偶者は、男性の医療従事者(医師など)が多いことから、配偶者教育を重視します
- 3. 女性に限らずすべての研究者にとって、ワークモチベーションを維持 する方法は、公平な評価と、それら評価の昇進や昇給への反映ですので、 公平な人事評価システムを作成し、それらの各部署への導入を目指します

【事業開始時の目標】

- ·女性研究者割合 30%以上 (現状: 22.6%)
- ・医系上位職に占める女性研究者比率 13.1% (現状: 10.0%)

【取組概要】

- 1. 学内のすべての研究者の研究環境へのニーズ把握と事業への反映
- 2. 研究とライフイベントの両立のための支援
- 3. 女性研究者の研究効率の向上のための取組
- 4. 女性研究者の研究力の向上のための取組
- 5. 女性研究者の採用人数及び上位職女性研究者を増加させるための取組



【支援内容】

- 1. 学内のすべての研究者のニーズの研究環境へのニーズ把握と事業への反映
 - ・事業開始前に全研究者を対象としたアンケートを実施し、事業内容に反映させます。また、事業終了時には、同様のアンケートを全研究者に実施し、 事業前と事業後の結果を比較し、事業の成果を数値で把握します
- 2. 研究とライフイベントの両立のための支援
 - ・ネットワークシステムを導入し、効率的な時間の使い方や在宅ワークの実現を目指します
 - ・女性研究者の配偶者教育としてのオリジナル動画を作成し、教職員への視聴を義務化します
- 3. 女性研究者の研究効率の向上のための取組
 - ・データ解析補助者・入力補助員を雇用し、研究時間やデータをまとめる時間、さらには論文作成時間に集中できるようにします
- 4. 女性研究者の研究力の向上のための取組
 - ・女性研究者助成金制度を設けスタートアップ資金を補助するとともに、優秀者を表彰し、研究へのモチベーション維持につなげます
 - ・ダイバーシティ・インクルージョン(DI)Dayを創設し、女性研究者の発表の場や研究者間の交流の場を生み出します
- 5. 女性研究者の採用人数及び上位職女性研究者を増加させる取組
 - ・公平な人事評価システムを構築し、各部署での同システム導入を目指します
 - ・講演会やシンポジウムを開催し、DIの啓発や本事業の浸透を図ります

【広報関係】

- ・久留米大学病院の正式な委員会として、平成26年5月に「男女共同参画事業推進委員会(別称:元気プロジェクト委員会)」が発足し、「女性医師の復職支援」「勤務医の働き方の見直し」「医学教育へのキャリア教育の導入」を目標に活動を進めてきました。同委員会は令和2年4月から名称を「ダイバーシティ・インクルージョン委員会」と改め、「医師のキャリア支援」「ワークライフバランスの取れた働き方の実現」「卒前のキャリア教育の充実」を新たな目標として定め、活動しています。 活動内容は、委員会の公式サイト、http://genki.kurume-univ.jp/をご覧ください。
- ・久留米大学病院は、平成28年度厚生労働省「女性医師キャリア支援モデル普及推進事業」を受託し、出産・子育てからの復職支援としてのパート医師制度の充実や、子育て支援のための学内制度一覧(ネット上での紹介)、出産後に復職に成功した女性医師のアンケートとそれに伴う「やる気スイッチグラフ」の提案を行い、「女性医師キャリア支援へのやる気スイッチグラフの活用」(守屋ら、久留米医学会雑誌第80巻第4・5号、平成29年5月)として、情報を発信しました。
- ・現在、男女共同参画やダイバーシティに関する研究として、「女性医師のワークモチベーションを上昇させる動機づけモデルの樹立(令和2年度文部科学省科学研究費助成事業基盤研究 (C)20K02622 令和2~4年度)、「医師と医学生のアンコンシャスバイアス(無意識の偏見)の実態調査」「女性研究者の旧姓使用に関する調査」を、いずれも久留米大学病院に 関する倫理委員会の承諾を得て実施中です。

KG-PROJECTとは?

KはKurume、GはGenki(元気)とGene(遺伝子)を表わします 元気な久留米の遺伝子を持ち、さらにその遺伝子を活性化させるプロジェクトが、 KG-PROJECTです!

【お問合せ】

機関名:学校法人 久留米大学 所在地:福岡県久留米市旭町67 連絡先:0942-35-3311(代表)

HP: https://d-inclusion.kurume-univ.jp/

